～支えあう　住みよい社会　地域から～

民児協だより

KANAGAWA

…まなざし…　誰からも親しまれる委員を目指して

神奈川県唯一の村である清川村の民生委員･児童委員は、今回の一斉改選で10人のうち6人が退任し、5人の皆さんが新任として加わりました。

毎月の定例会では、村民児協として行う事業や、関係団体からの依頼への対応など、会の運営に関することをアットホームな雰囲気で話し合っています。

この1年間は、グループホームや担当する地域の高齢者宅などへの訪問、地域包括支援センターや社会福祉協議会との情報交換のほか、障がい者の就労継続支援事業所に視察研修に行き、識見の向上につながる活動をしてきました。

活躍できる委員への道はまだまだ時間がかかります。まずは住民の皆さんに顔を覚えていただき、誰からも親しまれる委員になることを目指した活動を続けていきます。

（清川村民生委員児童委員協議会）

No. 156
2024.3
春

神奈川県民児協設立50周年
記念キャラクター「みんぴょん」

特集

①令和５年度受章（賞）者紹介
②民生委員をやってよかった！
～小田原市民児協の取り組み紹介～
③日常のちょっとした困りごとをサポート
～あいちゃんサービスの紹介～
●通信員だより（三浦市・大磯町・松田町）

特集

令和5年度受章(賞)者紹介 おめでとうございます

次の方々が栄えある叙勲・褒章・表彰を受けられました。

◇**春の叙勲**（4月29日付）
〈瑞宝単光章〉（3名）
【横須賀市】佐野美智子
【秦野市】熊澤道子
【大和市】細井和子

◇**秋の叙勲**（11月3日付）
〈瑞宝単光章〉（2名）
【平塚市】北村公秀
【箱根町】山本房子

◇**春の褒章**（4月29日付）
〈藍綬褒章〉（1名）
【茅ヶ崎市】木村はな子

◇**秋の褒章**（11月3日付）
〈藍綬褒章〉（1名）
【湯河原町】鎌田茂之

◇**厚生労働大臣表彰**（11月15日付）
〈民生委員・児童委員功労者〉（6名）
【横須賀市】林美佐子　玉泉隆治
【藤沢市】石井康子
【逗子市】坂口敏子
【大井町】寺下かつ子
【箱根町】村上ちず子
〈共同募金運動奉仕団体〉（1団体）
横須賀市上町第2地区民児協
〈共同募金運動奉仕者〉（1名）
【小田原市】岩田隆一

◇**厚生労働大臣特別表彰**（1月5日付）
（3名）
【藤沢市】五十嵐弘枝
【逗子市】髙岡芙美子
【秦野市】山﨑文子

◇**全国社会福祉協議会会長表彰**（11月15日付）
（8名）
【横須賀市】松本加代子
【平塚市】小原公一
【鎌倉市】尾島珠世
【藤沢市】山崎たか子
【小田原市】山室秀子
【茅ヶ崎市】鈴木志津江
【厚木市】永井明
【大和市】菊地美智子

◇**全国民生委員児童委員連合会会長表彰**（11月21日付）
〈優良民生委員児童委員協議会表彰〉
（2単位民児協）
藤沢市湘南大庭地区民児協
座間市第四地区民児協
〈永年勤続単位民生委員児童委員協議会会長表彰〉
（1名）
【藤沢市】三觜壽則
〈民生委員・児童委員功労者表彰〉
（19名）
【横須賀市】大久保久子　佐久間明
【平塚市】梶山富子
【鎌倉市】尾島珠世　新海ひろ子
角田孝子
【藤沢市】五十嵐弘枝　石澤仁子
井上明美　大滝志津子　大山睦子
近藤眞由美　塩山千枝子　難波典子
眞壁初枝　森もと江　山崎たか子
【秦野市】藤本きよみ
【大和市】保田穎子
〈永年勤続民生委員・児童委員表彰〉
（25名）
【横須賀市】梅原恵子　近藤厚子
杉本秀子　藤澤浩子
【平塚市】五十嵐都　小原住子
【鎌倉市】塩田みどり　武井みどり
【藤沢市】桜本和枝　竹下美和子
【小田原市】石田翠　柴田千賀子
清藤秀子
【逗子市】市川悟
【大和市】平本美智子　田所武雄
前畑美波　棟長壽雄　渡邊隆敏
【伊勢原市】綾部益美　山口百合子
【座間市】小松田千枝子
【綾瀬市】今井悦子　宇井葉子

◇**県民功労者表彰**（6月16日付）
〈社会福祉分野〉（9名）
【鎌倉市】角田孝子
【藤沢市】森もと江
【茅ヶ崎市】藤原絹代
【三浦市】宇田川敏枝
【大和市】力武美也子
【海老名市】千葉八重子
【寒川町】森井順子
【大井町】寺下かつ子
【箱根町】村上ちず子

◇**神奈川県知事表彰**（11月7日付）

〈民生委員・児童委員永年勤続表彰（30年）〉（6名）

【平塚市】今井弘子
【藤沢市】鈴木公美子　末吉育子
【茅ヶ崎市】木下操
【秦野市】熊澤道子
【大和市】村瀬てる代

〈民生委員・児童委員永年勤続表彰（15年）〉（130名）

【平塚市】今井洋子　岡部由美子
藤田武　天羽輝彦　松本ゆき子
菊池一夫　鈴木幸子　小原公一
長谷川啓子　相原明美　諸田艶子
長岡津也子　熊澤美智子　中島淑子
金子香代子　森山昭夫　川島辰治
【鎌倉市】津村留美　須藤富ね
森田裕美子　関正紀
【藤沢市】鈴木明世　手塚明美
山本春江　髙根三保子　外川久美子
森井賢一　井口今朝吉　福島進
林とも子　松本眞理子　松田晴恵
杉野千鶴子　長田五十鈴　田頭悠子
藤本富美代　能勢敏之　神谷佳代子
山口博子　石井彩子　玉腰巳佳
原田稔　和田洋治　本多典子
渡貞利康子　櫻井頼子　冨田耕
冨田三知代　戸板博子
【小田原市】池田法枝
山崎由起子　井上奈美子　山田信子
川向由起子　佐藤直美　秋山惠美子
田邉淳子　小塩千恵　大川紀江
【茅ヶ崎市】三橋美千子
小川三枝子　岩崎孝子
久保田昭二　北村佳代子　佐藤典子
菅野京子　髙田陽子　五十嵐優子
【逗子市】鈴木昌代
【三浦市】野沢昌子
【秦野市】和田房枝　大原紀子
石川義雄　北村均　市原ちか子
中村次義　谷昌枝　中里進二
【厚木市】佐藤由利子　重田春美
小本寛司　曾根茂　島村まさこ
【大和市】中丸由美子　関口好枝
宮内芳枝　吉谷和美　薄田哲雄
浅田紀子　峯一男　服部ますみ
【伊勢原市】常盤政子
【海老名市】守屋佐千子
小池一美　石垣幸子
【座間市】古宮和子　千田幸子
鈴木八千代　鈴木敬司　有山恵子
古谷育代
【南足柄市】加藤正敏　井川美代子
【綾瀬市】伊藤寧彦　狐塚文子
人見カツ子　八木修治
【愛川町】甘利敦子　小島重夫
石井康弘
【寒川町】金子由利子　小西悦子
前田久子　佐和橋みどり　山口幸子
【大磯町】山田操
【二宮町】西山千鶴子
【大井町】萱谷美千江　浅倉初江
【箱根町】星野洋子　山谷洋子
小林徳義　市川毅　佐々木匡子
【真鶴町】相磯礼子
【湯河原町】北村敦子　秋山こず枝
室伏由美子　梅原紘明　鈴木きよみ

〈共同募金運動功労者表彰（個人）〉（1名）

【藤沢市】森もと江

◇**神奈川県社会福祉協議会会長顕彰**（11月7日付）

【会長感謝（在職20年以上）】（9名）

【横須賀市】大久保久子
【平塚市】梶山富子
【藤沢市】三縄みちよ　山本佐衣子
【茅ヶ崎市】兼藤若江
【秦野市】中志陽一　藤本きよみ
【大和市】保田穎子
【大井町】寺下かつ子

【会長表彰（在職10年以上）】（17名）

【横須賀市】梅原恵子　近藤厚子
藤澤浩子
【平塚市】小原住子
【鎌倉市】村上史
【小田原市】石田翠　押田道子
川井朋子
【茅ヶ崎市】河村京子
【逗子市】清水幸代
【秦野市】栗原和子
【大和市】近藤直子　田所武雄
棟長壽雄
【伊勢原市】山口百合子
【綾瀬市】今井悦子
【大井町】村瀬和子

◇**神奈川県共同募金会会長感謝**（11月7日付）

〈神奈川県共同募金会会長感謝（個人）〉（7名）

【平塚市】菅原勝史　小玉洋忠
小室次男　山﨑正　荒木學
【小田原市】小林美由紀　石塚ミドリ

※敬称略。原則同一市町村内は受章（賞）名簿順に掲載。所属は受章（賞）当時のもの。
※受章（賞）時点で退任されている方、受章（賞）後に退任された方を含む。

市町村民児協発
活動研究レポートNO.51

民生委員をやってよかった！小田原市民児協が取り組む民生委員の魅力発信！

民生委員になったからには「やってよかった」と思えるよう、民児協として環境づくりを進めることが活動継続のためには重要となります。本紙面では、小田原市民児協が取り組むPR活動の紹介を通して、改めて、民生委員活動の意味や大切さ、効果的な魅力発信とは何かを考える機会としていきましょう。

PRチーム発足

昨今、「民生委員は大変だ」というイメージが根付いてしまっており、そのことばかりが拡散され、候補者のところへ話に行っても門前払いをされてしまい、なり手確保に苦慮されていると良く聞かれます。

小田原市民児協では令和元年から「やってよかった運動」を展開し、その後、市の広報や市民講座、看護学校講座、小田原市役所退職者説明会などで民生委員の紹介や活動内容の周知に取組んでいましたが、欠員解消には至りませんでした。

そのため、これまで以上に「民生委員を知らない人」や「民生委員になるか悩んでいる人」に対して、新たなPR活動に取組んでいく「PRチーム」を立ち上げました。

PRチームは、市内26単位民児協の中から新任単位民児協会長4名を主体とし、さらに経験年数の長い4名の会長を加え、計8名で構成されました。新任会長をメンバーに入れることで、一般市民の目線により近い発想でPR活動に取り組むことができます。

PR活動には仕掛けが必要

PRチームでは、令和5年の10月に小田原市生涯学習センターでのパネル展を初めて実施しました。浮世絵の団十郎達をモチーフに、民生委員のやりがいや魅力を伝える縦2メートル、横3メートルの巨大パネルを作成しました。

効果的に民生委員の魅力を発信するには「パッと見て関心を引く仕掛けが必要」と考え、まさに「何これ？」と立ち止まって見ていただくきっかけとなるインパクトあるイラストを用いています。遠くから見て気になったと見に来た方と民生委員活動について話をすることもありました。

PRチームのみなさん
和気あいあいとした雰囲気で、個性豊かなメンバーが真剣に、時には笑い合いながら話し合っています。

自己満足のPR活動で終わっていないか

PR活動をする際は、自己満足にならないよう心がけ、誰に向けて何を伝えるか（5W1H）を明確にし、それぞれの対象者に合わせたPRの仕方を考えていくことを大事にしています。

また、PR活動を進めていく上では、行政や社協等の関係機関の力を借りながら連携していくことが大切です。民生委員の視点から、民生委員の魅力を伝えるだけではなく、関係機関の視点から民生委員活動の役割や大切さを語ってもらい、一緒に考えながら、取り組んでいます。

「やってみよう」につながるたくさんの種をまく

岡田会長は今後に向けて、まずは、「PRチームで作成したパネルを公共施設や学校等、様々な場所に展示して、多くの方に見ていただきたい」と言います。さらに、一斉改選等の将来に向けて、「候補者として声をかけられた時の判断材料として、民生委員を知ってもらうたくさんの種をまいていき

たい」と熱く語ってくれました。
　また、市の事務局職員もPRチームの活動を通じてメンバー同士の交流が深まるとともに、メンバーそれぞれの民生委員活動に対する熱く力強い想いを感じているとのことです。
　斬新なアイデアで民生委員をPRする小田原市民児協では、動画の作成も考えているとのこと。今後の取り組みも引き続き紹介していきます。
（広報委員　小林　美幸、嶋村　真由美、宮﨑　進）

「広報おだわら」に民生委員を紹介する記事を掲載しました

●令和４年(2022年)２月号　No. 1234
#02　地域を見守り支える
　　やってよかった民生委員・児童委員

●令和５年(2023年)12月号　No. 1256
#05 民生委員・児童委員になろう

浮世絵に続く第２弾 !!　小田原三の丸ホールでパネル展開催中

民生委員として成長していく姿を恐竜で表現した楽しい展示です。縦約1.4m、横約５mの迫力あるパネルになっています。小田原にお越しの際は、ぜひお立ち寄りください。
展示日時：令和６年３月21日(木)～４月４日(木)
展示場所：小田原三の丸ホール【１Fギャラリー回廊】(小田原駅東口・徒歩13分)

活動のヒント・ポイント

効果的な広報活動の探求・取組みを

駒澤大学文学部社会学科
教授 川上 富雄 さん

　2022年の民生委員一斉改選では、全国の欠員が約14,800人に上り、改選時点欠員としては戦後最多となりました。都市部への人口集中に伴う定数の増加傾向が続く一方、高齢化や無縁社会化の進展に伴い人材確保が困難化しており、全国的にみても民生委員のなり手確保が喫緊の課題となっています。その中でも民生委員活動を広く住民に知ってもらうための「広報活動」は、様々な形や方法で各地の民児協において取り組まれているところです。小田原市民児協においても「PRチーム」を編成し、「民生委員の魅力発信」を「自己満足にならないよう心がけ」つつパネル展示や連携活動の中で推進されており、非常に大切な取り組みであると思います。
　さて、2022年に全国1万人を対象に全民児連が実施した意識調査では、民生委員を知っている割合は64％だったものの、役割や内容まで知っている人は5.4％にとどまっていました。また、民生委員の認知度は年齢層に比例していました。さらに、「将来的に民生委員になってみたいか」との問いには、10～20代が約25％と全世代で最も高く、30～40代も約2割が肯定的回答でした。
　つまり、民生委員の広報にあたっては、「役割や内容に踏み込んだ情報」を「若い世代の人たちに響くよう」発信していくことで、担い手確保に効果があると考えられます。社会的にも意義深く、大変ではありながらもやりがい感や達成感を得られる民生委員活動の魅力発信を、他の市区町村民児協においてもぜひ工夫して取り組んでいただき、相互に実践交流を重ねながら、より効果のある広報の方法を見出していただければと思います。

ひとネットワーク

日常のちょっとした困りごとをサポート

愛川町のボランティア団体「あいちゃんサービス」の紹介

町民みんなで助け合える地域を目指して

愛川町内の高齢化率が上昇し、2025年より加速が予想されることから、身体機能の衰えにより日常生活に不自由が生じる高齢者の方々のちょっとした困りごとをサポートする住民主体のボランティア団体「あいちゃんサービス」を令和4年7月、元愛川町民児協会長の石井さんが中心となり設立しました。

あいちゃんサービスは、13名の運営委員と46名のサポーターからなり、46名のサポーターのうち、17名が現・元民生委員です。そのほか、元教員や元保育士等が6名、町会議員等がサポーターになっています。サービス内容は21項目あり、基本料金は1回1時間300円です。有償ボランティアにしたのは、「料金の支払いがあった方が頼みやすく、申し訳ないという気持ちを割り切るため」と代表の石井さんは、利用者の立場になり考えます。その甲斐あってか、令和5年4月1日～12月27日までに298件の依頼に対応してきました。その中でも、買い物代行が93件と一番多く、続いて草取りが63件、窓ガラス・室内清掃が19件と続きます。

庭掃除の様子
サポーター自身の健康第一。やってあげるではなく、やらせていただく気持ちを持って活動しています。

単なる作業だけではない利用者との心通う時間を大事に

主任児童委員を4期務めた経験がある副代表の引木さんは、社会参加ができない高齢者がいるもどかしさを感じながらも「利用者さんの要望を叶えることで健康寿命が延びたり、ちょっと身体が動くようになったり、心が晴れることで、明るく生きる気力を持てるような機会になっている」とあいちゃんサービスの必要性を熱く語ってくれました。

あいちゃんサービスでは、作業だけではなく、利用者さんとの会話の時間も大事しています。「活動を通して、利用者さんと気持ちが通じ合えて信頼関係が深まってくることが何より嬉しい」と石井さんは柔らかな表情で語ってくれました。

「町や社協の支援を受けながら、これからも細く長く、困っている人の力になりたい」と大切にしている想いを語る代表の石井さん。

民生委員では対応できないことを地域で解決していくために

現役の民生委員でありながら、サポーターとして活動する相川さん。民生委員は、地域住民から様々なことをお願いされても対応できないことがあります。このような時、「お願いされたことに対して、できないと言い続けるのではなく、必要に応じてあいちゃんサービスや他団体につなぐ。民生委員として、つなぎ役を果すことが大事」と住民との信頼関係を保ちながらも、民生委員が一人で抱え込まないための工夫を話してくれました。

柔らかで温かい気持ちを大事に

今後に向けて、「困りごとを抱えた人が飛躍的に増えるが、それに対応できるサポーターを確保できるかが課題」と石井さんは言います。そのためには、一般町民が活動に賛同し、サポーターになってくれるかが鍵だそうです。また、現在、サービス内容にない移動支援についての要望があるが運転手がいない等、対応すべき課題を語ってくれました。

地域課題が複雑・多様化する中で、民生委員やボランティア団体だけでは解決できないことも多くあります。みなさんの地域でも、行政や地域の理解者、協力者と連携することの大切さ等について、考えてみてはいかがでしょうか。

（広報委員　菅 重男、守屋 孝幸）

お問い合わせ
あいちゃんサービスセンター
℡：090-8364-2111

NEWS&インフォメーション

第92回全国民生委員児童委員大会のご報告

11月21日(火)～22日(水)の2日間、広島市で開催された全国大会に県民児協から理事、受賞者、事務局を含め16名で参加しました。

一日目は、広島グリーンアリーナにて式典、表彰式、特別講義、アトラクションが行われました。受賞された三嶌会長をはじめ、藤沢市湘南大庭地区民児協、座間市第四地区民児協、受章者の皆様おめでとうございました。

特別講義には「ぼけますから、よろしくお願いします。」を制作された信友直子氏が登壇し、「ほどよくゆるく、まぁーるくつながる地域のかたち」と題した講演で、映画では描き切れなかったエピソードを交えたお話をされました。

特に印象的だったことは、お母様は残念ながらお亡くなりになりましたが、お父様は103歳になり、現在もお元気で暮らしているとのことです。ある時、ご近所の方に庭木の剪定をしていただき、お礼を持っていった時に「そんなものを貰いたくてやったんじゃない。恩返しをしたいなら、次の困っている方に恩送りをしなさい」と言われたそうです。やはり近所の方同士で助け合う「向こう三軒両隣」の精神ではないでしょうか。

最後には、地域の民生委員の方にお世話になり、自分も民生委員になって恩返し(恩送り)をしたいと言われました。これは、民生委員にとって最高の言葉ではないでしょうか。私も対象者のご家族からそう言っていただけるような活動を心がけていきたいと思います。

参加された理事と優良民児協会長

二日目は、シンポジウム「新たな子ども政策とこれからの民生委員・児童委員活動」に参加しました。少子高齢化の時代において、いかに子どもの成長を社会全体で支えていくのか様々な視点から勉強させていただきました。

「親がいなくても子は育つ」という親代わりの文化が、現在は「親がいても子は育たない」という状況になっているという話があり、子育ての難しい時代になってきたと思いました。「生まれた時からの非行児や犯罪者はいない」、「子どもが成長していく過程で誰と出会ったかで、その後の人生が変わる」と聞き、地域の子どもに問題が生じたときに支援するのではなく、登校の見守りなどを通して普段から関わりを持つことが大切なのだと感じました。民生委員・児童委員は、指導者ではなく支援者になる、方法を間違えれば見守りが監視になってしまうということを肝に銘じ、今後の活動に生かしていきたいと思います。

最後になりますが、今回の全国大会に参加させていただき、民生委員・児童委員としてまだまだ未熟ではありますが、少しだけ成長できたのかなと思います。ありがとうございました。

(開成町民児協会長　瀬戸　俊彦)

編集雑感

県民児協だより第156号では、民生委員活動を改めて考えるきっかけになる、二つの取り組みを掲載してます。

小田原市民児協では、全民児協が苦労している民生委員のなり手確保に向けた対策としてPRチームを立ち上げ、「民生委員を知ってもらう」ための様々なPR活動の取り組みを紹介してます。工夫しながら活動を進めていく中で、メンバーの皆さんの親睦の深さが伝わってきます。

愛川町では、元民生委員が高齢者の日常生活をサポートする住民主体のボランティア団体を設立。高齢者の方々とボランティア団体につなぐ役目が大事であると改めて痛感しました。

二つの活動を通じて、地域に根差した問題提起だけでは無く、自ら関係機関と連携して活動するという行動力に頭が下がります。

民生委員の役割や大切さ、地域内での対応すべき課題に取り組む姿勢など活動の参考として一読してみてください。

(広報委員　齋藤　啓子)

通信員だより

三浦市
「ほっと＊ハート」活動再開

通信員　山岸　義明

三方が海で、温暖な半島先端の三浦市民児協では、「ほっと＊ハート」活動を令和5年10月より再開いたしました。

お母さん達に息抜きの場を提供しようと平成18年に立ち上げた子育てサロンです。コロナ過で3年半程お休みしました。

月1回お母さんと乳幼児を受け入れ、乳幼児は主任児童委員（ベテランママ）が面倒を見て、お母さんはその時間、子育ての苦労を、お茶を呑みながら話し合う情報交換の場です。

市子ども課の保健師さんから新生児誕生の報告と訪問承諾を受け、主任児童委員が民生委員・児童委員と一緒に新生児の家庭を訪問する「赤ちゃん訪問」の時、「ほっと＊ハート」の案内を差し上げます。来場されたお母さんはその情報をきっかけに参加されたと言います。

会長の笹谷さんは、17年前の立ち上げ時を振り返り、「1回目は予想を超える42組の親子が参加されてパニックになった」と、様々なご苦労があったと、笑ってお話されました。これからも「ほっと＊ハート」活動、皆で協力し事業を続けていきます。

サロンに参加された親子

大磯町
委員同士の交流を通じて

通信員　小島　美奈

昨年11月、私たち大磯町民児協メンバーは葉山町を訪れ、葉山町民児協の皆さんと交流会を行いました。

人口・地形・立地等良く似た2つの町は抱える課題にも多くの共通点があり「防災」「高齢者・子ども・子育て世代の居場所づくり」「民生委員のなり手不足」等、様々なテーマについて活発な意見交換が行われました。

「防災」では要支援者をどの様に支えたらよいのか、「なり手不足」ではもっと民生委員のやりがいをアピールする、現役世代が参加しやすい様な仕組みを作る等の意見が出ました。他にも若い世代に民生委員を知っていただく機会である「赤ちゃん訪問」事業や「子ども見守り活動」など多くの事について話し合われました。

今回の様な他民児協の皆さんとの交流は、自身の活動を振り返り、改善していくために大きな刺激となりました。

何よりも多くの仲間が日々頑張っていることを知り、自分ももっと頑張ろう！と新たな気持ちになれたことが一番の収穫でした。また他の民児協の皆さんとも是非交流してみたいと思いました。

活動に対するモチベーションが向上する契機となりました

松田町
空腹を満たすだけでない災害食

通信員　守屋　孝幸

松田町民児協では災害に備える取り組みとして研修会を毎年開催しています。

今年度は12月13日に松田町生涯学習センター調理室で松田町職員管理栄養士佐藤明美さんによる「家庭で備えるもしもごはん」をテーマに日頃からの備えが必要な理由・災害食とは・備蓄食品を使った調理方法・役立つ日用品についての説明と災害食の調理試食会を開催しました。

バンダナ・マスク・エプロンを着用した30名の民生委員・児童委員と事務局職員1名が参加しました。佐藤さんの簡潔明瞭な説明にうなずかれ、配布資料に説明内容を記入される人が多く、参加者の研修に対する真剣さが伝わってきました。

佐藤さんの説明を聞き、災害食は空腹を満たすためではなく免疫力を高める食材・日常に近い食事ができる食品や電気・ガス・水道の供給が遮断されても温かい美味しい食事ができる食品や調理用品を備えて置く必要性を痛感しました。参加者は9班に分かれ三大栄養素を取り入れた災害食レシピを参考に調理・試食し、簡単で美味しく食べられる備蓄食品や調理方法に驚かれていました。

調理器具・食材を前に調理方法を聴く参加者

ホームページをご活用ください！
☆県民児協ホームページでは、民生委員・児童委員制度や活動に関する参考資料などを掲載しています。
委員専用ページをご覧いただくためには、次のログイン情報をご入力ください。

●発行日／令和6年3月15日　●発行人／会長 三觜 壽則　●編集人／広報委員会　●印刷所／㈱柏苑社
●発行所／神奈川県民生委員児童委員協議会〒221-0835 横浜市神奈川区鶴屋町2-24-2 ☎045-534-5812 FAX045-312-6307 ホームページ：https://www.kmjk.jp/